

共同研究奨励金助成グループ

「プランゲ文庫と東アジア」

本学図書館が所蔵するプランゲ文庫の新聞、雑誌コレクションの共同研究を目指す本研究会は2009年に学内共同研究奨励金に採択され、「プランゲ文庫と東アジア」に関連する研究会を積み重ねてきた。この3年間の共同研究の成果は2013年3月には『戦後日本と中国・朝鮮』（仮題、研文書店）として刊行される予定である。この3年間の共同研究は終了したもののプランゲ文庫を取り上げた継続的な研究が必要であるという判断から2012年には尹健次教授を代表とする第二期目の共同研究（題名—東アジアにおける民族主義の歴史的体験とその意味—「プランゲ文庫」を起点に考える）を申請し、採択された。これらの共同研究の推進のためプランゲ文庫研究会の活動は、第二期目の共同研究とほぼ重なっている。そこで、以下、2012年3月以降の共同研究の活動を記し、活動報告に代えることにしたい。

(1) 2012年3月26日、プランゲ文庫と東アジア研究会主催シンポジウム「戦後日本の原風景」の開催。

プログラム

第一部 戦後日本の出発 10:00-12:10

- (1) 「在日華僑にとっての日本—プランゲ文庫を素材に」(大里浩秋, 神奈川大学)
 - (2) 「昭和天皇の戦争責任」(朴晋雨, 韓国・淑明女子大学)
 - (3) 「沖縄返還と朝鮮半島出身者の法的地位問題」(小林聡明, 韓国・ソウル大学研究員)
- コメンテーター金昌浩 (森・濱田松本法律事務所, 弁護士), 阿部浩己 (神奈川大学)

第二部 戦後日本とアジア 1:30-4:00

- (1) 「在日朝鮮人と民族主義」(尹健次, 神奈川大学)
- (2) 「上海の『改造日報』と日本—プランゲ文庫との関連から」(孫安石, 神奈川大学)
- (3) 「台湾人留学生のメディアと戦後日本」(何義麟, 台北教育大学)
- (4) 「中国人留学生と戦後日中関係」(王雪萍, 東京大学)

コメンテーター村井寛志 (神奈川大学), 東郷佳朗 (神奈川大学), 陳来幸 (兵庫県立大学)

第三部 総合討論—司会 (吉井蒼生夫, 神奈川大学)



(写真1・2) シンポジウム「戦後日本の原風景」の様相 (プランゲ文庫と東アジア研究会主催, 2012年3月26日)



(2) 2012年6月6日（神奈川大学横浜キャンパス17号館，人文学研究所資料室）
第1回打ち合わせ会議の開催

内容

- (1) 2012年度からの共同研究，第二期についての報告
- (2) 2012年度の活動計画—韓国会議，沖縄会議について
- (3) 共同研究メンバーの構成について

(3) 2012年7月25日（水）15:00～17:00 場所：神奈川大学人文学研究所資料室

内容

- (1) 報告：解放初期，在日朝鮮人の民族主義（尹健次）
- (2) ソウル会議について（11月開催の予定）
- (3) 「プランゲ文庫と東アジア」研究班の成果報告書—人文学研究叢書作成案について

■内容—1945年から50年代初にかけての，在日中国人，在日朝鮮人，沖縄住民をめぐる諸状況に関する論考，及び同時期の関連資料の紹介

■目次（案）

大里浩秋「在日中国人にとっての戦後日本」

尹健次「在日朝鮮人と民族主義」
 孫安石「上海『亜洲世紀』が見た戦後アジアの政治状況」
 泉水英計「米軍統治下沖縄の公衆衛生—琉球結核予防会における台湾引揚者の活動を中心にして」
 小林聡明「GHQ 占領期における朝鮮人留学生のメディアに関すること」
 何義麟「台湾人留学生のメディアと戦後日本」
 王雪萍「日本における中国人留学生・華僑組織と中華人民共和国の関係」
 朴晋雨「昭和天皇の戦争責任」
 田畑光永「戦後断絶期の中国観 1946-1952」
 陳祖恩, 内容未定
 資料紹介,
 田遠『留日学生報』、『星火』関連のもの

(4) 2012年10月13日(土), プランゲ文庫と東アジア(ソウル会議)「日本敗戦と冷戦形成期における東アジアの歴史体験」(ソウル・淑明女子大学, 使用言語:日本語)

内容
 第1部 10:30-12:00 司会:鄭ヘギョン(정혜경)
 10:30-11:00 第1発表 小林聡明(神奈川大学)
 「監視される「思想」—米軍政期南朝鮮における検閲された日本人・朝鮮人の手紙の分析を中心に」
 11:00-11:30 第2発表 呉日煥(真相究明委員会研究委員)
 「1950年代日・中・台関係が北日・韓日関係に及ぼした影響」
 11:30-12:00 質疑討論
 コメンテーター:任聖謨(延世大学)・徐民教(誠心女子大学)
 12:00-1:30 昼食
 第2部 13:30-16:00 司会:金ミンヨン(김민영)
 13:30-14:00 第3発表 大里浩秋(神奈川大学)
 「国共内戦期の在日華僑」
 14:00-14:30 第4発表 崔永鎬(霊山大学教授)
 「日本占領初期の韓日関係に関する研究課題」
 14:30-14:50 休み
 14:50-15:20 第5発表 金太基(湖南大学)
 「東アジアにおける反共政策の推移」
 15:20-16:00 質疑討論
 コメンテーター:金廣烈(光云大学)・孫安石(神奈川大学)・尹健次(神奈川大学)・辛珠柏
 16:00-16:10 休み
 16:10-17:30 総合討論 司会:朴晋雨
 18:00- 懇親会



(写真4・5・6) 2012年10月12日～13日，韓国・ソウル会議の様相

(5) 2012年10月26日，人文学研究所資料室

内容

- (1) ソウル会議の反省と総括
- (2) 「在日朝鮮人運動史と在日華僑史についての比較・検討」尹健次
- (3) 沖縄会議の準備について

(6) 2013年2月15日（金），（琉球大学法文新棟102会議室），沖縄会議—占領戦後史のと沖縄（予定）

【報告者】

- 「近現代沖縄史と錯綜するアイデンティティ」波平恒男（琉球大学，ハーバマス研究）
- 「琉球大学史を通してみた米軍統治と日本復帰」大浜郁子（琉球大学，近現代史）
- 「植民地台湾が生んだ占領期沖縄の文化行政官」泉水英計（神奈川大学）
- 「国際法における沖縄」阿部浩己（神奈川大学）
- 「韓国の沖縄研究の紹介—『基地の島，オキナワ』を手掛かりに」孫安石（神奈川大学）

【神奈川大学側の参加者】

泉水英計（経営学部），阿部浩己（大学院法務研究科），大里浩秋（外国語学部），孫安石（外国語学部），尹健次（外国語学部）

（文責 孫安石）